

平成 18 年 度 の 作 業 結 果

市 町 村 名	名 称		都市計画決定年月日(当初)	計 画 延 長 (m)	路 線 の 整 理 番 号	区 間 延 長 (m)	区 間 の 代 表 幅 員 (m)	見直しの 方向性			選 定 理 由	
	番 号	路 線 名						見直し路線		存 続 路 線		
								廃 止	ル ー ト 変 更			幅 員 変 更
熊谷市 (旧熊 谷市)	3・6・5	熊谷行田線	S.21.10.5	250	49	2	100	11				沿道の工場が撤退し交通需要の減少が見込まれること、重複する市道110号線が交通機能を果たすと考えられることから、廃止の方向で見直しを進める。
	3・4・12	石原駅通線	S.21.10.5	570	50	1	570	18				まちづくりの将来像が変化し、石原駅の拠点性が想定していた程高まらず交通需要の減少が見込まれるため、廃止の方向で見直しを進める。
熊谷市 (旧妻 沼町)	3・4・2	新桐生熊谷線	S.39.8.20	2,670	51	1	1,020	16				重複する県道太田熊谷線等、周辺道路の整備が進んだことにより、これらの道路が交通機能を果たすと考えられるため、廃止の方向で見直しを進める。
						2	320	18				
						3	250	18				
						4	550	16				
						5	530	16				
	3・4・3	梶山江波線	S.39.8.20	1,480	52	4	629	16				まちづくりの将来像が変化し、沿道を市街化区域とする計画の実現性が薄れたこと、周辺道路が交通機能を果たすと考えられることから、廃止の方向で見直しを進める。
	3・4・4	江波弥籐吾新田線	S.39.8.20	1,800	53	1	770	16				まちづくりの将来像が変化し、沿道を市街化区域とする計画の実現性が薄れたこと、周辺道路が交通機能を果たすと考えられることから、廃止の方向で見直しを進める。
						2	230	16				
						3	800	16				
	3・4・6	登り戸梶山線	S.39.8.20	1,690	54	1	620	16				聖天山周辺の既存商店街の移転は観光拠点である当該地域の空洞化を招く恐れがあること、重複する県道羽生妻沼線等が交通機能を果たすと考えられることから、廃止の方向で見直しを進める。
熊谷市 (旧江 南町)	3・4・24	御正新田板井線	S.48.3.13	2,960	56	1	2,960	16				並行する県道熊谷小川秩父線等が交通機能を果たすと考えられるため、廃止の方向で見直しを進める。
	3・4・26	三本須賀広線	S.48.3.13	710	57	2	290	16				重複する市道江南116号線が交通機能を果たすと考えられるため、廃止の方向で見直しを進める。